

会議結果記録

会議の名称	令和4年度第1回茅野市総合計画審議会		
開催日時	令和4年5月26日(木) 18時30分～20時30分		
開催場所	茅野市役所 議会棟大会議室		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
事務局	○議事		
	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 副市長挨拶 3 会長挨拶 4 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 行財政審議会からの答申について 資料1 (2) 国家戦略特区(デジタル田園健康特区)の指定について 資料2 5 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 審議会等の公開について (2) 茅野市の現状等に関するアンケート結果について 資料3 (3) 第5次茅野市総合計画の見直しの方針について 資料4 (4) その他 6 その他 7 閉会 		
副市長	○議事録		
	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 副市長挨拶 <p>3ヵ月ぶりの審議会。この間御柱祭が無事行われ、新型コロナウイルスは第6波の流行があった。これまでの2回の審議会の中でも、人口縮減の更なる進展や、コロナによるパラダイムシフト、私たちの時代の考え方、価値観が劇的に変化していることを共有した。新しい時代のまちづくりの指針が求められている。本日は協議事項の前に行財政審議会からの答申内容とデジタル田園健康特区の指定についてご報告させていただく。茅野市の現状と課題や目指すまちの姿は、総合計画審議会と行財政審議会でも共有すべきもの。2つの審議会はセットで動いていくものと思っている。デジタル田園健康特区も地域課題の解決と目指すべきまちづくりのため、総合計画の傘の下で設計されていくもの。総合計画というキャンバスでどのような絵が描けるか、総合計画審議会の委員の皆様と共に創っていきたい。</p> 		
会長	<ol style="list-style-type: none"> 3 会長挨拶 <p>御柱祭が思っていたよりも盛大にできたこと、また、感染に注意していたことからレベル3で留まっていることをうれしく思う。世の中はウィズコロナに舵を切ってきたように感じている。前回の審議会の後、茅野市の現状に関するアンケートという形で皆さんのご意見を聞くことができた。多くの委員からたくさん有益なご意見をいただけてありがたい。結果を踏まえ</p> 		

	<p>て第5次総合計画の見直しを行っていききたい。また、ロシアによるウクライナ侵攻という大変大きな問題も起きた。コロナの影響に加え、ガソリンの値上がりや庶民の生活を直撃する食料品の値上がりも起きており、時代が変わったものと感じている。現状を間違えることなく把握しながら、総合計画を見直していききたい。個人的には計画の見直しというより、新たな計画を作っても良いのではないかと考えている。3次、4次、5次の総合計画策定に関わってきたが、かつては10年の計画期間も不思議ではなかったが、ここへきて10年先など見通せるのだろうかと思う気持ちもある。5年くらいでいいのではないか。この点も皆さんと検討していききたい。デジタル田園健康特区についても本日説明いただき、皆さんのご理解を賜りたい。新しい時代の幕開けとして、何を目標にして、何を手段としていくのか考えていかなければならない時代になったと思っている。委員の皆さんの忌憚のないご意見をいただきたい。</p>
事務局	<p>4 報告事項 (1) 行財政審議会からの答申について 資料1 =資料1に基づき説明=</p>
委員	<p>(行財政審議会会長より補足説明) 答申の内容はご覧のとおり。縮小均衡財政ということで、財政が厳しいことはご理解いただいていることと思う。基金を取崩したり、今後の維持修繕にかかる費用もかなりの額になる。行財政審議会としては若者に選ばれるまちを実現し、市民にとって便利で快適な暮らしやすいまちに寄与するかどうかを基準に答申を作成した。審議会の中ではメスを入れるべきところはしっかりとメスを入れるべきという意見も多く出た。これをもって総合計画もしっかりと見直す、やめることはやめる、新しくやることはやる、となっていけばよい。</p>
事務局	<p>(2) 国家戦略特区（デジタル田園健康特区）の指定について 資料2 =資料2に基づき説明=</p>
会長	<p>5 協議事項 (1) 審議会等の公開について この審議会は公開することとし、議事録については発言者の氏名を匿名としたうえでHPに公開することとしたいがよろしいか。 (一同異議なし)</p>
事務局	<p>(2) 茅野市の現状等に関するアンケート結果について 資料3 =資料3に基づき説明=</p>
会長	<p>アンケートではいろいろな切り口でご意見をいただきありがたい。基本的な問題は変わっていないのかもしれないが、コロナもあって第5次総合計画を作った時とは社会背景が違ってきていると思う。また新たなご意見等があればお寄せいただきたい。</p>
事務局	<p>(3) 第5次茅野市総合計画の見直しの方針について 資料4 =資料4に基づき説明=</p>

<p>会長</p>	<p>(1 総合計画の変遷～2 「②方針の検討」の視点について)</p> <p>3次の計画から関わらせていただいているが、茅野市の特徴がよく出ている。緑と活力から始まり、福祉が加わり、多様化の時代になって、細かく親切なのはいいが、わかりづらくなっていることも否めない。今までの総合計画の変遷も含めて大枠の考え方について皆さんからもご意見をいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>総合計画に載っていないとできないから、可能性のあることは全部載せ、実際にやる時に精査する、という考え方で策定してきたと思うが、こうすると市がどの方向を向いているのか、本当にやる気があるのかなどがわかりづらい。メリハリ、実効性、シンプルというキーワードや、行財政審議会からもドラスティックにやること、やらないことを分けていく必要があるという答申を受けていること、人口減少・少子高齢化、財政状況、デジタル田園健康特区への指定など、今までの方向性とは変わったことを示すことが大事。どこにフォーカスするのか明確に示したほうが良いのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>人口が増えてくる局面においては、どんなサービスをどのように提供するかを考え、メニューも増えてきて、あらゆる人に対応しようとすることは誠実な態度であったと思うが、局面は反転してきているので、考え方も反転させた方がよいと思う。資料の7ページの進行管理のところだが、計画上の達成度は高くても、本当の課題は別のところにあるということも多く、活動指標から成果指標への変更ということはよいと思う。目標の設定数値の見直しについては、客観性の観点とあるが、逆に主観を重視しなければならないのではないか。これまでの行政の仕事は市民全体に対して平等に提供するというものであったが、これからは個別の人々の問題に対してどのように対応していくか、個人一人一人をどのように幸せにしていこうかということを考えなければならない。それはデジタルが得意な分野でもあり、本来デジタルは生活を支えるための技術であるので、個別の人、主観性というものを大事にすべきだと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>書いてないことはやらない、というのが行政の姿勢であった時代もあって、事務事業だけで一冊の本を作って、それを一つ一つ精査して達成度をランク付けするようなこともしてきたと思うが、これからは全体がどうかというより個々人がどうかということに焦点を合わせるべきではないか。それにより実効性を高め、シンプルで、フレキシブルというのは書いてなくてもやる、というようなことだと思うが、そういうことを事前を書いておけばよい。デジタルというのは道具であり、道具を使いこなす人が中心。その人にどのように教育を施していくかが大事。大枠も大胆に変えて良い。特区については、もっともっと革新的な取組も検討してほしい。</p>
<p>会長</p>	<p>皆さんの意見もお聞きし、昨今の社会情勢も考えると、計画の見直しというより新たに第6次の計画を作った方がいいのではないかという気もしているがいかがか。</p> <p>(全会一致で賛成)</p> <p>見直しということで考えてきたが、やはり今の時代に合った新しい計画</p>

	<p>が必要だと思う。市側もそのような方針で今後考えてほしい。</p> <p>(3 これからのまちづくりのイメージについて)</p> <p>資料の9ページに人の力とあるが、人の知識、経験、創造力、感性などは磨かなければ出てこない。磨くためには教育、それも義務教育以外の場で磨く必要がある。人の力を磨くための芸術に力を入れてはどうかと考えている。資料の11ページにはDXとゼロカーボンに加えてエデュケーション(教育)を加えてほしい。1万年続いた縄文時代の知恵を活かした教育はSDGsにもつながる。</p>
委員	<p>若者に焦点を当てた話も多いが、これから生きていく若者自身がこの審議会に参画したほうが良いと考えている。まして第6次の新しい計画となればどのように若者の意見を取り入れていくのかお伺いしたい。</p>
事務局	<p>これからの計画においては若者の意見の反映は重要。審議会にメンバーとして参画いただくこと、若者の意見を収集するためにディスカッションの場を設けることなど、今後考えていきたい。</p>
委員	<p>若者に加えて、女性の比率も高めた方がいいと思う。若者に選ばれるまちという観点は大事だが、資料の10ページの子どもからお年寄りまですべての市民が暮しやすいまちの方が良いのではないかと思う。あらゆる人の知恵を集結してまちの力にしていくことが茅野市の強みにならなくてはいけない。若者だけでなくいろいろな人が力を出し合うことが大事。</p>
委員	<p>明治維新から77年で終戦を迎え、今年は終戦後77年となる節目の年。コロナ禍や気候変動、少子高齢化など危機的状況の中で、これまでの計画でも基盤となっているのは自然であると思うので、与件の整理において自然環境や自然条件についても盛り込んだ内容としてほしい。</p> <p>(4) その他 =審議会委員、事務局、それぞれ発言なし=</p>
事務局	<p>5 その他 (1) 次回会議日程について 可能であれば1か月後を目安に再度開催させていただきたいと思っている。</p>
副会長	<p>6 閉会 本日は新しい計画へ舵を切るということで、第6次総合計画という方向性で視点が定まったと考えている。また次回も、皆さんの力を持ち寄って計画の策定を進めていきたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>